

長野県福祉大学校ホームページ改修業務委託仕様書

1 業務名

長野県福祉大学校ホームページ改修業務委託

2 目的

- (1) 中高生やその保護者に訴求する魅力的で分かりやすいデザインを採用し、視認性・検索性の高い構成とし、SNS や動画等の外部媒体と連携し、情報接触機会の拡大を図る。
- (2) 職員が容易に情報更新できる環境を整備し、持続可能な運用体制を構築することで、迅速かつ継続的な情報発信を実現する。
- (3) アクセス解析によるターゲット別のコンテンツ設計、SEO 対策、UI/UX 改善、CTA 最適化等により、志願者獲得につながる戦略的な情報発信を推進する。

3 受託者要件

受託者は、業務を適切に遂行するため、次のいずれかの認証を取得していること

- ・プライバシーマーク
- ・ISO/IEC27001

4 想定される成果と効果

- (1) 学校理解の深化（閲覧者の滞在時間向上）
- (2) 志願者数増加及び学校行事等への参加者の増加
- (3) 本校受験希望者、保護者、中学校・高校職員、地域住民との情報共有強化
- (4) 本校職員による迅速な情報更新体制の確立
- (5) アクセスログ分析による継続的改善

5 業務期間

- (1) 業務期間：契約日から令和 9 年 3 月 31 日（水）まで
- (2) ホームページ公開予定日：令和 9 年 3 月 1 日（月）予定

6 業務範囲

現行ホームページの情報を基に全面的な再構築を行う。

7 作業工程

業務は以下の工程により実施するものとする。

なお、契約締結後、速やかに詳細な作業スケジュールを作成し、発注者へ提出すること。

- (1) 現状分析・課題整理
- (2) 基本設計（サイト構造・情報設計）
- (3) 詳細設計（画面・CMS 設計）
- (4) デザイン制作
- (5) 開発

- (6) 実装
- (7) テスト（動作・表示・セキュリティ確認）
- (8) 検収（発注者確認・修正対応）
- (9) 公開
- (10) 運用開始

8 移行対応

既存サイトから新サイトへの移行にあたっては、コンテンツの移行、URL 変更への対応、リダイレクト設定等を適切に行い、利用者の混乱及び検索エンジン評価への影響を最小限とすること

また、現行サイトのコンテンツについては、整理の上、新サイトへ適切に移行すること

9 業務内容

業務の実施にあたっては、発注者のニーズ及び意向を十分に把握し、継続的な協議のもと業務を遂行すること

また、単なる要望対応にとどまらず、専門的知見に基づき改善提案を行い、発注者の目的達成に資する最適な方策を主体的に提案すること

(1) 現状分析・課題整理

現行サイトの構造、コンテンツ、導線を分析し、課題（情報の分散、更新負担、UI の古さ等）を整理し改善方針を提案する

(2) 基本設計・情報設計

サイトマップ（おおむね 30 ページ）を作成し、ページ階層及びナビゲーションを整理する。志願者・保護者等、ユーザーに合わせた導線設計を行う。

(3) コンテンツ企画・制作

ア 学校概要、教育情報、学科紹介、進路情報、学校生活、入試情報、証明書申請、イベント情報、工事・入札情報等の構成を設計する。

イ 学校の外観・内観等の写真撮影（撮影日 1 日を想定）を含め、本校の魅力や特色が閲覧者に直感的かつ効果的に伝わる構成とすること

ウ SNS との連携を通じて情報発信の拡散を図るとともに、閲覧者の関心喚起および志願者増加につながる効果的な活用方法について提案すること

(4) デザイン

中高生やその保護者に訴求する魅力的なデザインとすること

(5) Content Management System（以下「CMS」という。）要件

CMS の詳細機能要件については、以下のア～コの機能を有することが望ましい。受託者は、別紙「CMS 機能要件一覧」の各項目について、対応可否を明示すること

ア 操作性（CMS 要件一覧 No. 1～9）

コンテンツの作成・編集については、コピー&ペースト操作やドラッグ操作等により直感的に行えるものとし、公開前のプレビュー確認が可能であること。また、見出し設定、リンク設定、画像挿入等が容易に行えること

イ 管理機能（CMS 要件一覧 No. 10～18）

複数ユーザーによる運用を前提とし、権限管理およびアカウント管理が適切に行えること。また、承認フロー、ページ管理、公開日時設定、カテゴリ分類等により、組織的な運用が可能であること

ウ 履歴・ログ管理（CMS 要件一覧 No. 19～21）

コンテンツの編集履歴及び操作ログを取得・管理できるものとし、過去の状態への復元が可能であること

エ SEO 機能（CMS 要件一覧 No. 22～26）

各ページにタイトル及び説明文（ディスクリプション）を設定可能とし、検索エンジンに適切に表示される構成とすること。また、サイトマップの自動生成等により検索エンジン最適化を図ること

オ セキュリティ（CMS 要件一覧 No. 27～39）

ログイン制御、認証管理、HTTPS 対応等の基本的なセキュリティ対策を講じるほか、SQL インジェクション及びクロスサイトスクリプティング等の脆弱性対策を実装すること。また、IP 制限や二要素認証に対応すること

カ 運用機能（CMS 要件一覧 No. 40～44）

システムの安定稼働のため、定期的なアップデート及びセキュリティパッチの適用が可能であること。また、障害やセキュリティインシデントが発生した場合には、速やかに発注者へ報告し、迅速な復旧対応が可能な体制を有すること

キ アクセシビリティ（CMS 要件一覧 No. 45）

JIS X 8341-3:2016 適合レベル AA に配慮した構成とすること

ク ファイル管理（CMS 要件一覧 No. 46～48）

PDF 等のファイルについては、アップロード及び一覧管理が可能であり、検索できる機能を備えること

ケ 拡張性・外部連携（CMS 要件一覧 No. 49～52）

将来的な機能追加に対応可能な構造とし、Instagram、YouTube 等の外部サービスとの連携が可能な構成とすること

コ ユーザーインターフェース・ナビゲーション（CMS 要件一覧 No. 53～56）

ナビゲーションは自動生成可能とし、利用者が現在位置を把握できるパンくずリスト等を備えること。また、エラーページ（404）を適切に表示できること

さらに、利用者が迷うことなく目的の情報に到達できるよう、導線設計およびナビゲーション構造を最適化すること

(6) 機能要件

利用者の利便性向上及び情報発信力の強化を図るとともに、アクセス状況の把握や改善に資する機能および性能要件を備えること

ア サイト内検索機能を有すること

イ 利用状況を把握できるアクセス解析機能を備えること

ウ 画像および動画コンテンツを含むページの表示速度については、スマートフォンによる一般的な通信環境（4G 相当）において、主要コンテンツが概ね 3 秒以内（可能な限り 2 秒以内）に表示されるよう最適化を行うこと（利用者に過度な待ち時間を感じさせな

い構成とすること)。また、低速回線環境においても基本的な情報が閲覧可能な構成とすること

なお、これらの機能については、CMS または外部ツール等により実現するものとする。

(7) 対応環境

ア 閲覧環境

スマートフォン・タブレット・PC からの閲覧に対応すること

イ ブラウザ環境

主要ブラウザ (Edge、Chrome、Safari、Firefox) 最新版に対応しデザインが崩れないこと

(8) インフラ要件

安定性、可用性及び安全性を確保するため、適切なインフラ環境を整備すること

ア ドメインについては、新規取得し、適切に管理すること。

イ サーバーについては、共有サーバーを用意し、安定的かつ継続的な運用が可能な構成とすること

ウ 通信の暗号化を行い、利用者の情報を保護するなど通信の安全性を確保すること

エ データセンターは、以下の要件を満たすこと

- ・ ISO/IEC27001 を取得したデータセンターを利用すること
- ・ 国内に設置されていること
- ・ 準拠法および管轄裁判所が日本国内であること

オ 災害対策について、火災、水害、地震を考慮した対策を講じること

(9) セキュリティ及びバックアップセキュリティ要件

システムは、安定的かつ安全に運用するため、以下のセキュリティ対策を講じること

ア 基本対策

(ア) 通信の安全性を確保するため、SSL/TLS 等による暗号化通信 (HTTPS) を実装すること

(イ) 管理画面へのアクセス制御、適切な認証強化 (ID・パスワード管理、多要素認証等) を実施すること

(ウ) 個人情報の取扱いについては、関係法令およびガイドラインを遵守し、適切に管理すること

(エ) TLS 証明書の有効期限を適切に管理し、期限切れが発生しないよう更新作業を運用保守業務に含めること

(オ) パスワードは以下の要件を満たすこと

- ・ 10 文字以上
- ・ 英大文字、小文字、数字を含むこと

イ 脆弱性対策

(ア) OS、ミドルウェア、CMS 及び関連ソフトウェアについては、常に最新の状態に保ち、セキュリティパッチを適用すること

(イ) SQL インジェクション、クロスサイトスクリプティング (XSS) 等の代表的な脆弱性に対する対策を講じること

(ウ) 脆弱性情報を継続的に収集し、必要な対策を適時実施すること

(エ) システムの設計、開発および運用にあたっては、IPA (独立行政法人情報処理推進機構) の「安全なウェブサイトの作り方」に準拠し、脆弱性対策その他必要なセキュ

リティ対策を適切に実施すること

ウ 監視・ログ管理

- (ア) サーバー及びシステムの稼働状況について常時監視を行い、異常の早期検知に努めること
- (イ) 不正アクセスの検知及び防止のための監視体制を整備すること
- (ウ) アクセスログ、操作ログ等の監査証跡を取得し、一定期間安全に保管すること
- (エ) 攻撃や不正アクセスの記録については、分析可能な状態で保存し、改ざん・消去防止措置を講じること
- (オ) サーバー内ファイルについて、定期的に改ざん検知を実施すること

エ メール送信に関する対策

メール送信機能を有する場合は、送信ドメイン認証に対応し、なりすましメール対策を実施すること

オ お問い合わせフォーム

お問い合わせフォーム等により取得する個人情報については、Web サーバー上に不要に保存しない構成とすること

カ ネットワーク及びサーバー対策

- (ア) 外部公開サーバーについては、不要なユーザーアカウント、不要なサービス及び不要なプログラムを削除すること
- (イ) 外部からの攻撃リスクを考慮し、匿名通信の遮断等の対策を講じること
- (ウ) 不正アクセス、通信の盗聴、改ざん、DoS 攻撃等を防止するための適切な対策を講じること

キ バックアップ及び復旧

- (ア) システム及びコンテンツについては、定期的にバックアップを取得すること
- (イ) 障害またはセキュリティインシデント発生時に迅速な復旧が可能となるよう、復旧手順および体制を整備すること
- (ウ) 24 時間対応を含む運用体制を確保すること
- (エ) バックアップデータは、ランサムウェア対策として、システムから直接アクセスできない方式（論理分離またはオフライン）で保管すること

10 運用・保守

(1) 運用支援

円滑かつ継続的な運用を実現するため、以下の支援を行う。

- ア CMS の操作方法や記事作成手順等について、利用者が理解しやすい操作マニュアルを作成し、提供すること
- イ 本校職員を対象とした操作研修を実施し、日常的な更新作業が円滑に行えるよう支援すること
- ウ ホームページ公開後に発生する問い合わせについて、適切かつ迅速に対応する体制を整備すること

(2) 保守

安定的かつ継続的な運用を確保するため、以下の保守業務を実施すること

- ア システムの稼働状況を適切に監視し、異常発生 of 早期検知に努めること

- イ 障害が発生した場合には、原因の調査および復旧対応を迅速に行い、影響の最小化を図ること
- ウ 運用状況や利用状況を踏まえ、改善提案を行い、継続的な品質向上に努めること
- エ ホームページ公開後においても、前記 9 に記載されている各種要件が満たされるよう対応すること

11 成果物

以下の成果物は、ホームページ公開日までに納品すること

- (1) 構築した Web サイト一式（公開可能な状態でのシステムを含む）
- (2) 制作過程において作成または取得した写真・動画等のコンテンツデータ
- (3) 運用及び更新に必要な操作マニュアル

12 納品・検収

- (1) 上記 11 の成果物について、発注者は、内容の確認を行うため、受託者の立会いのもと検収を実施するものとする。
- (2) 検収の結果、仕様書に定める要件を満たしていない事項が認められた場合には、受託者は速やかに修正対応を行うものとする。

なお、検収において支障がないと認められた場合には、業務完了後 3 日をもって正式な引渡しとする。

13 著作権・法的事項

- (1) 業務により作成された成果物の著作権（著作権法第 27 条および第 28 条に規定する権利を含む。）は、原則として発注者に帰属するものとする。
- (2) 受託者は、業務により作成した成果物が第三者の著作権、肖像権その他の権利を侵害しないこと
- (3) 万一、第三者との間で権利侵害に関する紛争が生じた場合には、受託者の責任と負担においてこれを解決するものとし、発注者に損害が生じた場合は、これを賠償するものとする。
- (4) 受託者は、納品物に契約内容に適合しない不具合があった場合、民法の規定に基づき、引渡し後 10 年以内において無償で修補等の対応を行うものとする。
- (5) 契約終了時、又はシステム更改時、受託者は、他システムへの移行に必要なデータを無償で提供すること

14 個人情報保護

業務の実施にあたり取得した個人情報については、関係法令および発注者の定める規程等を遵守し、適切に取り扱うものとする。

- (1) 撮影及び取材の実施にあたっては、事前に対象者の同意を適切に取得すること
- (2) 取得した個人情報については、漏えい、滅失または毀損の防止その他必要な安全管理措置を講じること
- (3) 個人情報は、本業務の目的の範囲内でのみ利用するものとし、目的外利用を行わないこと
- (4) 取得情報は発注者の承諾なく第三者へ開示、又は利用してはならない。

15 提案

(1) 基本方針

本仕様書の内容を踏まえ、受託者は発注者との円滑なコミュニケーションを図り、適切な情報共有のもと、業務の目的達成に資する提案を行うこと。

また、単なる要件充足にとどまらず、受託者の専門的知見及び実績に基づき、より効果かつ効率的な手法、改善案並びにリスク低減策等について積極的に提案すること

(2) 提案内容

提案にあたっては、以下の事項を含めること

ア サイト構築および運用に係る具体的手法及び体制

イ セキュリティ対策及びリスク管理方針

ウ アクセシビリティ及びユーザビリティ向上策

エ 運用開始後の改善および継続的な品質向上に関する方策

(3) 費用

ア 受託者は、本業務に必要な費用（CMS ライセンス・保守、サーバー利用料、SSL 証明書費用、ドメイン管理費用等）を一式として見積もること

イ 上記アとは別に、次の費用を見積もること

本業務で構築したホームページの、翌年以降の一月当たりの運用・保守費用（CMS ライセンス・保守、サーバー利用料、SSL 証明書費用、ドメイン管理費用等）

ただし、運用・保守の内容は、上記 10 のとおりとし、期間は5年間とする。

16 その他

本仕様書に定めのない事項または疑義が生じた場合については、発注者と受託者が協議の上、決定するものとする。